

風の軸

自然体験で生活を豊かに



6月30日に行なわれた梅採りツアーの様子

水仙福祉会では、兵庫県篠山市と琵琶湖畔とに、丹波の家、比良風の家などの自然生活体験施設を持っている。

篠山市にある丹波里山で、まだ肌寒い早春にみつける蒔のとう。春の息吹とともに、あちらこちらで顔をのぞかせる山菜。鶯の声。初夏になると梅の木が青い梅を実らせ、漆黒の中、蜜が飛び交う。

秋が深まると、一面のススキに紅葉。さつま芋をはじめとした作物の収穫。時として雪が舞い散る冬、凍てつく寒さの中で掘ったばかりの大根の、何というみずみずしさ。

比良では、眼前に広がる琵琶湖での湖水浴はもちろんのこと、四季折々の景色を味わうことができる。特に冬場、澄みきった湖の上をカモメが飛ぶ様は、趣に満ちている。

人間は自然の一部であり、自然を抜きにして人の生活は

成り立たないが、街中で過ごしているとき、つい自然から遠ざかってしまう。

しかし実際に丹波に行き、蜜の生息する清らかな川が、武庫川の源流と知る時、生活と自然とがつながっていく。目前の琵琶湖が水道水として使われていることを思うと、環境に気持ちに向く。

現在、丹波の畑や果樹園では、職員や成人施設利用者の手をかけられて、季節ごとの作物が育っている。また宿泊や日帰り行事にも使われ、6月には法人内全施設から、利用者や家族、職員が参加しての梅採りツアーを実施した。

無農薬の梅はシロップや梅干しなどに加工され、施設の昼食に使われる。比良風の家も、夏本番を目の前に、施設整備作業が行なわれた。

子どもたちや高齢者、障がいのある人たちの生活を、より豊かなものにするために、こうした自然体験を大切にしていきたい。

水仙の家 施設長

榎本多美子